

# 宙と大地

筑波銀行第22回企画展



彫刻 一色 邦彦  
日本画 一色 直彦

## ごあいさつ

若葉青葉の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。このたび、筑波銀行第22回ギャラリー企画展としまして、「彫刻 一色邦彦・日本画 一色直彦展 一宙と大地」を開催する運びとなりました。

一色邦彦先生は、1935年東京で生まれ、9歳の時にご両親の郷里、茨城県土浦市に移り、以来地元茨城を大切にしている作家です。幼いころから彫刻家であった父一色五郎の影響を受け、彫刻家の道へ進み、1960年東京藝術大学彫刻科を卒業。同年、新制作協会展に初出品し新作家賞を受賞しておられます。1962年には東京藝術大学彫刻科専攻科を修了。以降、新制作協会会員となり新制作協会展を拠点に幅広い活動を展開し、現在まで数多くの功績を残しておられます。1968年アトリエを牛久市に移し、ブロンズ像を中心とした彫刻を手掛け、第9回高村光太郎賞、中原悌二郎賞優秀賞を受賞するなど、各現代彫刻展で受賞を重ね、当地の美術振興に大きく貢献されています。

一色直彦先生は、1966年一色邦彦先生のご子息として茨城県で生まれ、1992年東京藝術大学大学院日本画科を修了。広大無辺の宇宙をテーマとし、杉や樺などの板材に、日本画材の岩絵具や金箔などを用いて描いた作品を中心に制作されています。2017年には、雨引山楽法寺に四季折々の境内の様子を描いた「雨引五景図」を奉納。神秘的で風光明媚な作品は高く評価され、現在まで個展を中心にご活躍されています。

今展は、茨城を代表する彫刻家一色邦彦先生と日本画家一色直彦先生が、「宙と大地」と題し、立体である彫刻と平面である日本画それぞれが表現する芸術空間を実現しました。邦彦先生のブロンズ彫刻でありながらも重量感や不動性から解き放たれ大地から天高く舞い上がるような作品や直彦先生が宇宙の浮遊感や静寂を描いた絵画作品全44点と未完成品も展示いたします。この機会に何卒ご高覧くださいませようお願い申し上げます。

末筆になりますが、企画展開催に際しましてご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。

2019年6月  
株式会社 筑波銀行

2019

6.4 火 ▶ 6.30 日

午前9時～午後5時(土・日も開館)  
筑波銀行つくば本部2階ギャラリー  
入場無料



筑波銀行

〒305-0032 茨城県つくば市竹園1丁目7番  
TEL.029-859-8111 (地域振興部：遠山)

